

## 使用上の注意改訂のお知らせ

2023年8月

ファイザー株式会社

深在性真菌症治療剤

日本薬局方 ポリコナゾール錠

**ブイフェンド<sup>®</sup>錠50mg**

**ブイフェンド<sup>®</sup>錠200mg**

VFEND<sup>®</sup> Tablets

ポリコナゾールドライシロップ

**ブイフェンド<sup>®</sup>ドライシロップ 2800mg**

VFEND<sup>®</sup> Dry Syrup 2800mg

日本薬局方 注射用ポリコナゾール

**ブイフェンド<sup>®</sup> 200mg 静注用**

VFEND<sup>®</sup> for Intravenous Use

劇薬、処方箋医薬品（注意 - 医師等の処方箋により使用すること）

標記製品の電子化された添付文書（以下、電子添文）の「使用上の注意」を次のとおり自主改訂いたしますのでご案内申し上げます。

今後のご使用に際しましては、以下の内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

### 【改訂内容】

改訂後（下線部は改訂箇所）	改訂前
<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>2.1 次の薬剤を投与中の患者：リファンピシン、リファブチン、エファビレンツ、リトナビル、ロピナビル・リトナビル、ニルマトレルビル・リトナビル、カルバマゼピン、バルビタール、フェノバルビタール、ピモジド、キノジン、イバブラジン、麦角アルカロイド（エルゴタミン・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、ジヒドロエルゴタミン、エルゴメトリン、メチルエルゴメトリン）、トリアゾラム、チカグレロル、アスナプレビル、ロミタピド、プロナンセリン、スポレキサント、リバーロキサバン、リオシグアト、アゼルニジピン、オルメサルタン メドキシミル・アゼルニジピン、ベネトクラクス（再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）の</p>	<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>2.1 次の薬剤を投与中の患者：リファンピシン、リファブチン、エファビレンツ、リトナビル、ロピナビル・リトナビル、ニルマトレルビル・リトナビル、カルバマゼピン、バルビタール、フェノバルビタール、ピモジド、キノジン、イバブラジン、麦角アルカロイド（エルゴタミン・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、ジヒドロエルゴタミン、エルゴメトリン、メチルエルゴメトリン）、トリアゾラム、チカグレロル、アスナプレビル、ロミタピド、プロナンセリン、スポレキサント、リバーロキサバン、リオシグアト、アゼルニジピン、オルメサルタン メドキシミル・アゼルニジピン、ベネトクラクス（再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）の</p>

改訂後（下線部は改訂箇所）	改訂前																					
<p>用量漸増期)、アナモレリン、<u>ルラシドン</u>、<u>イサブコナゾニウム</u> [10.1 参照] 2.2~2.3 省略</p>	<p>用量漸増期)、アナモレリン、ルラシドン [10.1 参照] 2.2~2.3 省略</p>																					
<p>10. 相互作用 省略 10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">省略</td> </tr> <tr> <td>ルラシドン (ラツダ) [2.1 参照]</td> <td>省略</td> <td>省略</td> </tr> <tr> <td><u>イサブコナゾニウム</u> (クレセンバ) [2.1 参照]</td> <td>本剤との併用により、イサブコナゾールの血中濃度が上昇し、作用が増強するおそれがある。</td> <td>本剤はイサブコナゾールの代謝酵素 (CYP3A) を阻害する。</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	省略			ルラシドン (ラツダ) [2.1 参照]	省略	省略	<u>イサブコナゾニウム</u> (クレセンバ) [2.1 参照]	本剤との併用により、イサブコナゾールの血中濃度が上昇し、作用が増強するおそれがある。	本剤はイサブコナゾールの代謝酵素 (CYP3A) を阻害する。	<p>10. 相互作用 省略 10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">省略</td> </tr> <tr> <td>ルラシドン (ラツダ) [2.1 参照]</td> <td>省略</td> <td>省略</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	省略			ルラシドン (ラツダ) [2.1 参照]	省略	省略
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																				
省略																						
ルラシドン (ラツダ) [2.1 参照]	省略	省略																				
<u>イサブコナゾニウム</u> (クレセンバ) [2.1 参照]	本剤との併用により、イサブコナゾールの血中濃度が上昇し、作用が増強するおそれがある。	本剤はイサブコナゾールの代謝酵素 (CYP3A) を阻害する。																				
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																				
省略																						
ルラシドン (ラツダ) [2.1 参照]	省略	省略																				

## 【改訂理由】

### 自主改訂

#### 「2.禁忌」「10.1 併用禁忌」の項

イサブコナゾニウム（クレセンバカプセル 100mg・同点滴静注用 200mg／旭化成ファーマ株式会社）の電子添文の「2.禁忌」「10.1 併用禁忌」の項にポリコナゾールが記載されたことを受け、本剤の電子添文においてもイサブコナゾニウムを追記し注意喚起を行うこといたしました。

なお、本改訂は相互作用相手薬の電子添文との整合を目的とした改訂であり、弊社が実施した当該相互作用に関する臨床試験はありません。

≪改訂内容につきましては医薬品安全対策情報（DSU）No.320（2023年9月）に掲載される予定です。≫

お問い合わせ先：ファイザー株式会社 製品情報センター 学術情報ダイヤル：0120-664-467

〒151-8589 東京都渋谷区代々木 3-22-7 新宿文化クイントビル

PMDA ウェブサイト「医薬品に関する情報」（<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>）に最新の電子添文及び医薬品安全対策情報（DSU）が掲載されます。  
また、ファイザー株式会社の医療関係者向けウェブサイト「ファイザーメディカルインフォメーション」（<https://www.pfizermedicalinformation.jp/>）に製品情報を掲載しております。なお、以下のGS1バーコードを「添文ナビ」で読み取ることで、もしくは以下のPMDAウェブサイトより本製品の最新の電子添文等をご覧いただけます。

ブイフェンド錠 50mg/200mg



(01)14987114386301

ブイフェンドドライシロップ 2800mg



(01)14987114386806

ブイフェンド 200mg 静注用



(01)14987114386004

PMDA ウェブサイト ポリコナゾール（ブイフェンド錠 50mg/200mg・同ドライシロップ 2800mg）：

<https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/iyakuDetail/GeneralList/6179001>

ポリコナゾール（ブイフェンド 200mg 静注用）：

<https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/iyakuDetail/GeneralList/6179401>